

かわねほんちょう 議会だより

第32号

平成25年11月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会



も く じ

新正副議長、新町長あいさつ…………… P2
議会構成…………… P3
平成24年度
川根本町会計決算認定…………… P4～5

9月定例会報告…………… P6
一般質問…………… P7～11
議会日誌・編集後記…………… P12

開かれた議会を目指して。。。

新しい町議会の構成が決まりました

10月21日、平成25年第1回臨時会が開催され、正副議長をはじめ委員会の構成が決まりました。そのほか一部事務組合議員や選挙管理委員会委員・補充員の選挙も行われました。



副議長
小藪侃一郎



議長
中田 隆幸

議長 就任あいさつ

10月21日臨時議会におきまして、議員各位の選挙により議長の要職に就くことになり重責の重さを痛感しております。

思い起こせば川根本町が発足した時に議会に送っていただき、早いもので8年の歳月が過ぎました。

初めて一般質問に立った時の記憶が思い出されます。初の質問は、支所周辺の活性化の考えを問いましたが、行政側の答弁に自力の無さを痛感した事を今思い起こしております。議会では6月議会におきまして議会基本条例を議決しました。一人一人の議員としての責務は元より、議会全体の住民に対する議決の報告・議会運営等、又、二元代表制の中で

の行政との関わり方等々、今後の議会のあり方を住民の皆様にお知らせしながらより透明で内容のわかる議会を目指し努力していきたいと思っております。

私の好きな言葉で「世の中に自分より優れた人が居ても少しも恥ずかしい事では無い。一番恥ずかしい事は今年の自分と今年の自分を比べた時少しの進歩の無い事である。」この言葉の様に議員12名で議会の充実を図り、各種の問題を共有し討議・討論を重ねて、議会の充実を図りながら

一步一歩前へと進み、責務をはたせたらと思えます。

新たな議会を目指して行く事を念頭に、ご挨拶とさせていただきます。

副議長 就任あいさつ

このたび副議長の重責を担うこととなり、職責の重さを痛感し身の引き締まる思いです。

川根本町は住民福祉の向上・発展を標榜し、まちづくり基本条例、議会基本条例が制定されました。議会として本条例が単なる「アクセサリー条例化」にならないように、この制

まもなく奥大井は紅葉シーズン到来で、多くの観光客が来町される季節になりました。大井川鐵道のSL、井川線と温泉、大自然の雄大さと美しさを満喫されるよう、川根茶と笑顔でお迎えする準備をし、

度を運用、活用し内容を実現できる様に、二元代表制を認識しつつ町長、町長部局とも連携し、町づくりに努力していきたいと思いま

す。微力な私ですが、副議長として情熱と責任をもって町政の発展に努め、議長の補佐役を務めて参りますので、町民の皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。

鈴木敏夫町長よりごあいさつ



お迎えする準備をし、

リピーター、サポーターになっていただけるよう心掛けてい道路の渋滞が続くと観光客の不評をかい、来訪者が減少する可能性が高く、再度、国、県、静岡市、浜松市へ要請し、安心・安全の道路整備を図っていききたいと思えます。

第一常任委員会

担当…総務課・企画課・税務課・福祉課・生活健康課に関する事項及び他の常任委員会に属さない事項



委員長 鈴木多津枝



副委員長 太田侑孝



委員 小藪侃一郎



委員 森 照信



委員 山本信之



委員 藪田靖邦

第二常任委員会

担当…産業課・建設課・商工観光課・教育委員会に関する事項



委員長 中澤莊也



副委員長 芹澤廣行



委員 中田隆幸



委員 根岸英一



委員 野口直次



委員 坂本政司

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会や委員会の条例・規則、本会議の日程等、議会運営に関する事項を決定する重要な組織です。

委員長 森 照信 委員 鈴木多津枝
副委員長 太田 侑孝 〃 山本 信之
〃 〃 中澤 莊也

一部事務組合議会議員の選挙

関係市町で構成する一部事務組合の議会議員の選挙（議長の指名推薦）が行われ、次の議員が選出されました。

◎川根地区広域施設 議会議員
組合議会議員 ◎駿遠学園管理組合
小藪侃一郎 鈴木多津枝

中澤 莊也
坂本 政司

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

任期満了に伴い行われた選挙（議長の指名推薦）で、次の方が選出されました。

委員 小澤 藤夫 補充員 小坂 進
神谷 信秋 田畑 義次
北原 嘉夫 森下 洋一
筑地 秀明 森越 節子

特別会計決算を認定

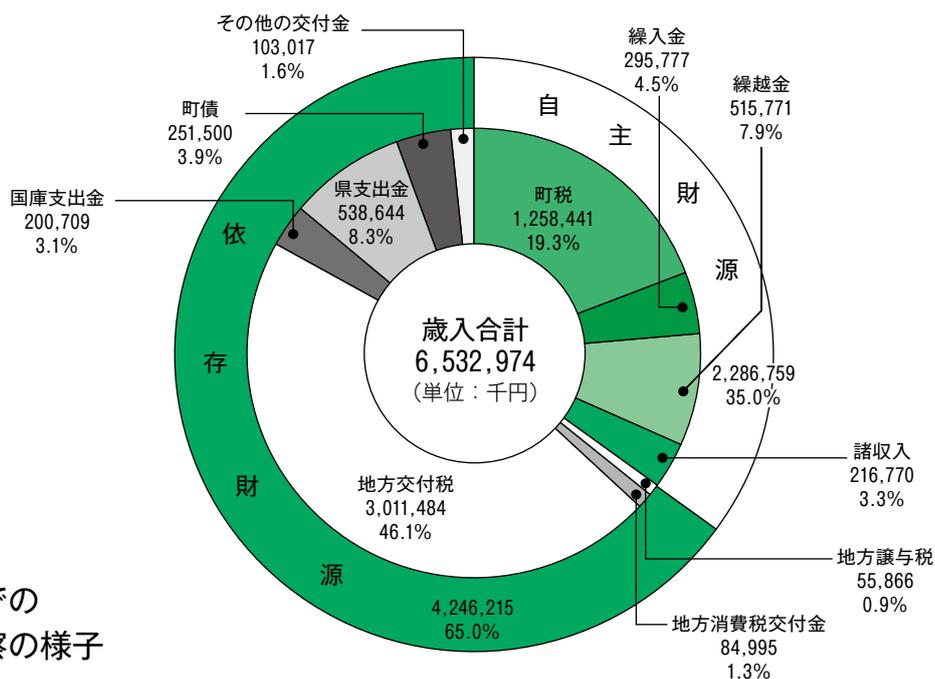
説明を受け、その内容や使われた経費・効果等について、連日熱心な審査が行われました。

☆5年間の町税の推移

(単位：千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
町 民 税	399,826	347,725	385,022	336,478	296,833
固 定 資 産 税	985,795	952,778	936,467	937,801	903,944
軽 自 動 車 税	20,202	20,369	20,454	20,683	20,909
町 た ば こ 税	29,117	26,915	26,721	29,893	29,758
入 湯 税	8,130	7,444	6,712	5,455	6,997
歳 入 合 計	1,443,070	1,355,231	1,375,376	1,330,310	1,258,441

一般会計歳入の内訳



☆決算審査での 現地視察の様子



リニューアルしたB&G海洋センタープール



24年度の線越事業となっていた林道ヒラト線開設工事(崎平)

平成24年度一般会計

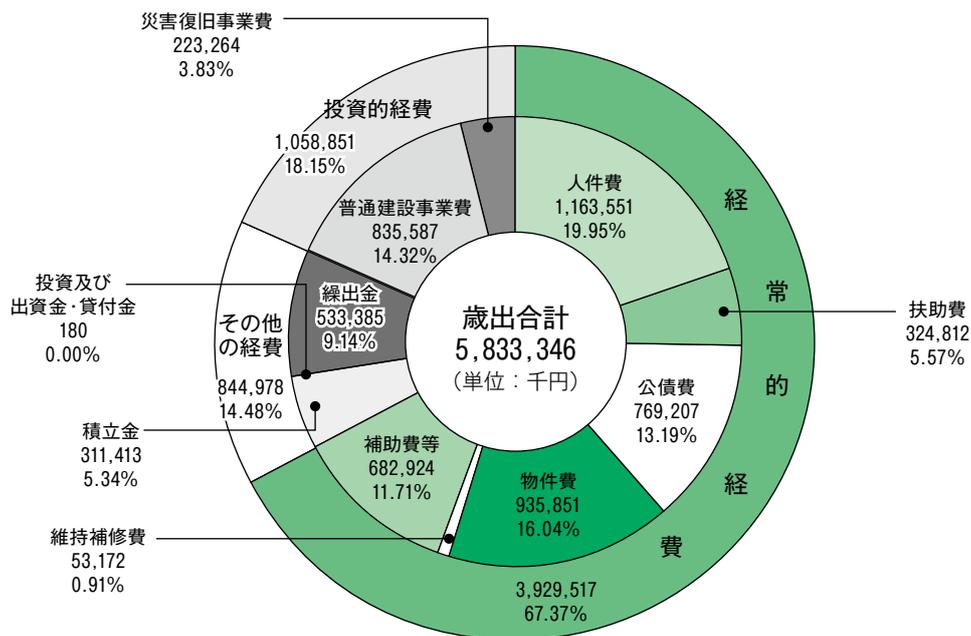
9月5日から行われた決算特別委員会では、昨年度実施された事業を中心に、担当課ごとにまた、12日には主な事業箇所の現地調査を行いました。

☆5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
財政調整基金残高	893,197	1,044,885	1,450,863	1,451,325	1,679,998
減債基金残高	27,227	47,704	47,721	47,731	93,565
国民健康保険給付等支払準備基金残高	205,244	194,584	173,470	138,578	132,003
簡易水道基金残高	111,614	99,485	101,784	90,436	80,315
温泉事業基金	9,934	9,946	9,951	9,954	9,956
起債残高	7,419,160	6,965,488	6,292,463	5,957,223	5,527,109

一般会計歳出の内訳



☆特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

		国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温泉事業	いやしの里診療所
歳入決算額	23年度	986,554	103,189	1,107,470	372,464	53,938	21,523
	24年度	947,537	113,585	1,143,257	243,385	26,897	37,547
歳出決算額	23年度	911,186	101,730	1,043,473	367,099	51,236	21,482
	24年度	886,627	111,779	1,178,494	237,845	26,705	37,491
繰越額	23年度	75,367	1,458	63,997	5,395	2,702	41,048
	24年度	60,909	1,806	△ 35,236	5,539	192	56
24年度当初予算額		963,376	118,100	1,185,462	252,058	27,987	42,071

また、選挙後初の10月臨時議会では、町長から人事案件が4件提出されました。

人事案件

◎監査委員の選任について

…全員賛成で同意
 監査委員
 柳原 義六氏（再任）
 議会選出監査委員
 森 照信氏（再任）

◎教育委員会委員の任命について

…全員賛成で同意
 中村 弘司氏（再任）
 太田たみ子氏（再任）



臨時議会の様子

9月議会定例会で意見書2件

平成25年第3回議会定例会が9月3日に開かれ、24年度会計決算など17件の議案が町長から提出されました。

一般会計と6つの特別会計決算については特別委員会審査を行い、最終日（19日）での採決の結果、全7会計決算を認定しました。

初日に議決した議案

補正予算

◎平成25年度一般会計補正予算（第3号）

…全員賛成で可決
 補正後の額
 61億8千499万5千円
 （1億4千968万2千円の増額）

本年4月の凍霜害による被害茶園への災害対策資金利子補給及び肥料・農薬代支援金、水川地内の農道開設経

費、道路や河川整備に関する事業費の追加などが主なものです。

◎平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

…全員賛成で可決
 補正後の額
 11億3千264万3千円
 （260万6千円の増額）

前年度の事業実績に基づく国・県支出金、支払基金交付金及び一般会計繰入金の精算です。

◎平成25年度いよしの里診療所事業特別会計補正予算（第2号）

…全員賛成で可決
 補正後の額
 5千579万2千円
 （20万1千円の増額）

診療所備品の購入や、緑茶服用研究に関する経費の追加などです。

条例関係

◎川根本町税条例の一部改正

…全員賛成で可決
 ◎川根本町国民健康保険条例の一部改正

…全員賛成で可決
 ◎川根本町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

…全員賛成で可決
 ◎川根本町介護保険条例の一部改正

…全員賛成で可決
 ◎川根本町接岨峡温泉休憩施設条例の一部改正

…賛成多数で可決
 経営安定化対策の一つとして指定管理者が定める利用料金の範囲が引き上げられました。

…賛成多数で可決

人事案件・その他

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

…全員賛成で同意
 任期満了に伴い、新しく固定資産評価審査委員会委員が選任されました。

◎財産の取得（第4分団消防ポンプ自動車購入）

…全員賛成で可決
 2件の意見書が提出され、いずれも全員賛成で採択されました。

議員提出議案

…全員賛成で可決
 契約先…
 カークア中原（川根本町千頭）
 契約額…1千78万円
 平成25年度大規模地震対策等総合支援事業によるものです。

意見書②

重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書（抜粋）

昨年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者も、県重度障害者(児)医療費助成制度の対象となったが、精神障害者の病状・症状は不安定で、必ずしも順調な過程をたどるものではなく、2,3級手帳保持者に於いても入院医療費の負担は家庭に重くのしかかっているのが実情である。

よって、2,3級手帳所持者の精神科入院医療費も本制度の補助対象に含めるよう制度を改めるべきと考える。

川根本町議会

意見書①

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書（抜粋）

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

川根本町議会



長塚 誠 議員

問

- 通信環境整備の現状と今後の対応
- 川根本町アプリの速報性と利便性は良い
- 川根本町の将来予測をお聞きます

質問 通信基盤整備について、平成22年ごろ、総務省から、光の道構想が公にされました、（光ファイバー網を）町単独での工事という初期の計画は実現性の課題や、敷設後の費用負担など、明確な提示がなく、多くの方々が心配された結果、現在に至っていると考えています。

通信という分野は、民間通信事業者に介在していただく方がよろしいのではないかと、たとえ初期投資の費用は町で工面できたとしましても、その後の費用というのは道路などと違って町単独の負担になると思われます。極力町単独での通信インフラは保持することなく、いかに整備しているのかが重要ではないか。

町長 今後計画する事業については、学校、

医療機関、行政施設を結ぶネットワークは機密性が求められ、光ファイバーなどのケーブルネットワークが必ず要ですが、それ以外の部分については、無線技術の発達により高速無線の活用も十分考えられるものであります。同報無線のデジタル化とこの町の将来に必要な地域情報化を一つの事業として計画できれば、現在ある国や県の地域情報化の補助制度を有効に使い、財政的な負担を少なくできると考えています。

質問 本年6月開始された川根本町アプリが通信による住民サービスを実現し始めてくれています。通信環境の変化の中、住民サービスに必ずしも光の道が絶対ではなく、できることから整備していったらいかがか？アプリを体験していただきたい。

また、ノートパソコンなども持ち込めば使えて、学習や仕事や趣味などに活用していただく通信環境整備は、公共施設周辺の無線LANスポットで始めていただいで、また次のステップに向かっていただければというふうに考えます。

災害アプリなどを運用する場合は、当然電源喪失なども考慮しなくてはいけませんので、やはりソーラーパネルなどの設備など兼ね備えた公共施設で高速無線が使える環境になれば、災害時など命の通信回線にもなり得ると考えます。

町長 アプリは簡単な手順でこの町の情報を取得することを目的に開発したものであります。

質問 今後の財政見通しを伺わせていただきたい。

町長 地方交付税については、現在合併により2町分の交付となっているものが平成32年度には1町分の交付となり、現在の試算で見ますと5億7千万円ほどの減額が予想されます。

また、今後、北部地域での簡易水道施設の整備事業や消防広域化事業の実施など、大規模事業も予定されているため、財政については大変厳しい状況も予想されますが、基金や地方債現在高の動向などを踏まえ、身の丈に合った、健全な財政運営を心がけていきたいと考えております。



町ホームページのスマートフォンアプリ画面

- 同報無線のデジタル化と共に総合的に整備したい
- 川根本町アプリで簡単に町の情報を得られます
- 身の丈に合った、健全な財政運営を心がけます

答



板谷 信 議員

○住民・行政・議会でいかに議会基本条例を
活用し、住民主体の町政を進めて行くのか
○住民主体で町政へ参画するため、行政と議
会はどのように協力していくべきか

問

質問 議会基本条例の目的は、町政の重要な意思決定のルールを制度として保障することにあるが、住民主体の町政を進めるため、本条例をいかに活用すべきと考えるか。

町長 基本条例8条で、町と議会はそれぞれの特性を生かし、常に緊張感を持ちつつ、政策の論点や争点を明確にし、競合・協働し合うことで良好な町政を運営すべきと規定されている。行政と議会、互いの信頼がなければ、町民福祉の向上は達成し得ないと考える。

質問 住民が町政に参画する場合、無関心層が町政に及ぼす弊害をどう考えるか。

町長 多数決を可とする民主主義政治の大きな問題点であり、少しでも無関心層を減らすため、町は議論の判断材料を提供することが必要だと認識している。

質問 無関心層の住民を否定的に捉えるのではなく、なぜ無関心な人が増えてきているのか。また、行政や議会のその部分に対する責任をどう捉えるか。

町長 行政や議会に任せておくという民主主義の生い立ちによるところもあったかもしれないが、ここ数年、町政に対する住民の意識は高まってきたと思う。住民が町の方向を決めることに責任を持つてもらうため、行政は時間をかけて住民の意向を確認する努力を怠ってはならないと思っている。

質問 住民が行政に無関心である一番の原因は、町政そのものの不透明さにあるのではないか。住民主体の町政が動いていかない原因は、町政への無関心、固執した少数意見、町長の職権乱用的な部分もあると思うが、町長の考えを伺う。

町長 支持を得て町長となっても、独断で物事を進めてはいけなし、多くの声を聞いて施策を判断すべきだと思う。

22年度の地域自治振興事業は、地域の問題を地域で考え解決し、また、町の職員もアドバイザーとして各地域に張りつけることで、地域や行政の協働を図り、お互いの絆を強める試みだった。今後も町の施策に反映されることを期待している。

質問 今後、議会として予算・決算の審査、町提案の施策等の議論をし、町政の透明化に努めたい。例えば決算で審査した事業を次年度予算へ反映させれば、住民にも町の施策がわかりやすいものになっていくと思うが、町はどのように予算へ生かしていくのか。

町長 今回の決算審査は、予算執行における実際の事業効果を検証したものであり、ある意味、議会による行政の外部評価と捉えている。行革でも進めているP D C Aサイクルの形をさらに整えていく必要性を感じている。

世界農業遺産の認定、エコパークの推薦の見通しも立ってきた。今後も町の特性を生かし、地域のバランスを考えて事業を展開していきたい。



行政職員も参加した
議会基本条例講演会 (10/17)

○議会と行政は緊張感を保ちつつ協働し、お互いの役割を機能させることが必要

答

○行政は、住民がまちづくりに参加しやすい環境づくりを
議会は、住民へ説明責任を果たし、その声を町政へ届ける



中澤 莊也 議員

問

- ゆるキャラを活用したまちおこしについて
- 川根茶の生産基盤の強化について

質問 平成24年の産業祭でオチャッピーと命名されたゆるキャラを産業祭だけのイメージキャラクターに留めることなく、川根本町、川根茶等のPRのために活用していく考えはないか伺う。また、商標登録してオチャッピー関連の商品、例えば携帯ストラップ等を開発していく考えはないか伺う。

町長 オチャッピーは産業文化祭のイメージキャラクターではあるが、これからの活用としては、先般開催しました産業文化祭実行委員会においても広く活用していきたいという意見もいただき、町のPRやイベントなどに活用していきたいと考えているが、商標登録して商品開発をしていく点については、現在のところ考えてはいない。

質問 川根茶の生産基盤の強化について、共同体による茶園管理等への支援について。

町長 生産基盤の整備強化は重要なことだと考えている。そのため町としても国の強い農業づくり交付金事業による緑茶加工施設の整備や農業経営体質強化基盤整備事業による防霜ファンの更新等に取組んできた。また、町単独事業として、特産物振興事業による茶園改植や茶業施設等整備強化事業による乗用型茶摘採機などの省力化施設整備や製茶機械の新設・更新などの荒茶加工施設整備に対して支援してきた。引き続き茶の生産基盤の整備強化に取り組んでいきたいと考えている。

共同体による茶園管理等の支援については町としても必要と考えており、多面的機能を持つ茶園の維持確保対策事業や耕作放棄地再生利用対策事業、中山間地域等直接支払交付金事業に取り組んでいる。これらの事業は耕作放棄地の発生防止や農地としての再生、茶園の維持保全に大きく貢献しており、国や県へ引き続き事業の継続を要望していきたいと考えている。



中山間地直接支払実践地区 (向井)

質問 中山間地域等直接支払交付金事業の現状と課題について。

産業課長 この事業は国が行う事業であり、中山間地域において適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業生産に対する中山間の不利を補正するための支援を行い、農地の多面的機能の確保を図るために行われているものである。これを行うことのできる主体は、集落協定を締結した農業者等である。これには第三セクターであるとか農業協同組合、生産組織、特定農業法人等が含まれる。交付金は、10a当たり1万円1千500円が支払われることになっている。

この事業の課題としては、中山間地域の事業を受け取れる地域の畑の傾斜度等に規制があること等が考えられる。平成26年度がこの交付金の第三期の期間となっており、事業の継続並びに傾斜度等の要件の緩和も要望していきたい。

- 町のPRやイベントなどに活用していきたいと考えている

答

- 共同体による茶園管理等の支援については、

町としても必要と考えている



鈴木 多津枝 議員

○給食費無償化や出産祝い金の増額など子育て支援の拡充を

○町内の大鐵運賃を町営バス同額の補助を

○消費税増税に反対し、町民負担軽減を

問

質問 高齢者にも子どもにも優しい安心安全の町づくりを。①結婚・出産祝い金の増額、学校給食費の無償化、奨学金増額と給付制導入等、子育て支援の拡充を。②川根高校存続に向け、下宿・寮を整備して生徒受け入れを。③若者住宅建設、宅地分譲、民間賃貸住宅家賃補助、空き家活用等の定住促進を。地名の若者住宅では年令制限で他市町へ出て行く方もいる。④大鐵運賃を町営バスと同額で乗れる補助を。⑤洪水・地震等の自然災害に備え、要援護者対策、家具転倒防止・耐震補強等の補助拡充を。地区集会所や学校への太陽光発電・蓄電設備の設置を。また東海地震の震源域真上にある世界一危険な浜岡原発の再稼働を認めない意思表示を。⑥消費税増税に反対し、



県立川根高校

町民の暮らしを守るために、国保税や介護保険料など負担軽減を。**町長** ①定住人口増を目的に結婚5万円、第1子2万円、2子3万円、3子以降5万円支給。他市町は出産祝い金が主で結婚祝いには2市町しかない。増額の考えはないが、子育て負担軽減は検討したい。奨学金は向学心に富みながら経済的理由で修学困難な生徒・学生に月1万円以内を貸与、卒業後5年以内に返還する。必要に応じ見直ししたい。②現在川根高校は保護者や生徒の要

望に十分応じ、個性を生かした素晴らしい教育がなされている。今後、生徒減少で今の教育が維持できるか危惧される。他市町から積極的に生徒を受け入れるために、同窓会と連携し下宿を整備したい。③住宅建設より宅地分譲や空き家活用、民間賃貸住宅の家賃補助を進めたい。④現在行っている学生や高齢者、障害者等への補助以外は考えていない。⑤自分の身は自分で守るという意識と日頃の備えが大事。家具転倒防止や住宅耐震化は費用がかかるので、命を守る耐震シェルターを助成している。浜岡原発再稼働は、火力発電の燃料費や環境問題、日本経済の観点から国が考

えるべき。⑥消費税増税は町民の暮らしに影響ある。国保税は、長引く不況や地域経済の冷え込み、被保険者の高齢化等、負担の平準化のため一般会計繰入も検討する。介護保険料は予防に力を入れ増加を抑えたい。



町又峡温泉・露天風呂

質問

建て替え計画が進む寸又峡温泉露天風呂等、大量の給湯を要する施設へのバイオマス活用を進め、森林整備や雇用の場の拡充を。

町長

当町の森林整備は質の林業を目指しており、エネルギー資源として大量の林地残材の供給は困難。重油等の補助としての活用など、森林整備や雇用の場も含め検討したい。

○給食費の無償化は考えていない

○祝い金増額で効果がでるか、総合的に考えたい

○大鐵運賃補助は現行の補助以外は考えていない

○国保税は負担増を避ける一般会計繰入も検討する

答



芹澤 廣行 議員

問

○町立小中学校の再編成の可能性について ○本町役場職員の町外に住所を置く者の数と対応について

質問 平成25年度以降の本町の児童、生徒数の推移について。

教育長 平成25年8月現在の4小学校の児童数合計は217人。26年度213人。27年度204人。28年度202人。29年度208人。30年度205人。31年度213人。2中学校の生徒数合計は、25年度150人。26年度144人。27年度135人。28年度117人。29年度107人。30年度109人。31年度100人と見込まれます。

質問 4小学校の複式学級の出現予測について伺う。

町長 中央小学校以外の3校は平成29年度までの間に一部複式学級が出現する見込みです。

質問 小学校4校を1校に、中学校2校を1校に再編成できる可能性はあるか。

教育長 本年度、少子化の進展に伴う児童、生徒の減少を踏まえ、



町立中川根中学校

小中学校の教育のあり方を協議、検討するための協議会を設置し、8月27日に第1回目の会議を実施し、以後5回程度の協議会を開催し、諸々の課題に対応していくつもりです。現段階では小中学校の再編についての回答は控えたと思います。なお、川根本町立小中学校のあり方協議会の委員は、教育委員4人、小中学校PTA代表12人、保育園保護者代表6人、幼稚園PTA代表2人、学校評議員6人、計30人で構成しています。

質問 本町職員の中で町外に住所を置く者の人数について伺う。

町長 25年4月1日現在の職員148名の中で、町外からの勤務職員は24名であり、内訳は島田市21名、藤枝市1名、静岡市2名です。

質問 職員が住所を町外に移す理由は何か。

町長 結婚を機に転出する者が多いのではないかと思います。

質問 役場職員は町内に住所を置くべきだと考えるがどうか。

総務課長 公務員は町民のために働いていることは間違いありません。例えば災害時に参集時間がかかる等、登庁時の不安がありますので、やはり町内に住む方が好ましいと考えますが、それを強制するのは難しいかと考えています。

質問 町外に住所を置く職員の納付すべき税

金等について伺う。

副町長 市町民税を本町以外の市に納めることはシビアな形で言えば、町の経済に影響があると思います。

質問 町外に住所を置く職員への今後の対策は。

副町長 日本国憲法の中で居住の自由は保障されていることは事実ですが、公務員は自身が務める地域を大切に思う事は必要であります。

平成22年に地域自治振興事業を行った時に、「地域アドバイザー」という形で、町外に住む役場職員が、より地域を大切にするという活動を行った経緯もあります。

今後も町外在住職員については、自治活動、地域への協力・参加を強く要望していくことが一つの解決策にもなると思います。

○現在、小中学校のあり方協議会を設置し検討中
再編成についての回答は控えたい

○職員148名中24名が町外に居住しているが、
町内に住居を移すための強制力はない

答

議 会 日 誌

7月

- 1～3日 町議会議員行政視察(広島・山口・福岡)
- 12日 5市2町議会議長連絡協議会(御前崎市)
- 18日 土木事業説明会(文化会館)
- 29日 県市町議会議員研修会(静岡市)



県市町議会全議員研修会
(7/29静岡グランシップ)

健康長寿のまちづくり
講演会(8/10文化会館)



8月

- 8～9日 議員視察研修報告会(開発センター・文化会館)
- 10日 健康長寿のまちづくり事業講演会(文化会館)
- 12日 静岡市・川根本町間国道バイパス建設促進期成同盟会総会(静岡市)



決算特別委員会・現地調査
にて(9/5～12)

9月

- 3～19日 平成25年第3回定例会(9月議会)
- 5～12日 決算特別委員会
- 20日 国道362号整備要望(東京都・国交省)
- 25～26日 地域に開かれたダム連絡協議会総会(町内)

静大・日誌一幸教授による
議会基本条例講演会
(10/17)



10月

- 7日 町長・町議会議員当選証書交付授与式
- 8日 県議長会総会・正副議長、事務局長研修会
- 17日 議員研修会・議会基本条例講演会
- 21日 平成25年第1回臨時会(初議会)
- 29～30日 議員研修会

編集後記

10月16日より新メンバーによる議会がスタートしました。議会基本条例に定めた「町民との不断の情報提供及び意見交換を基礎として、議会内での徹底した議員間討議を行うこと」で、「町民と議会のゆるぎない信頼関係を構築」しようとして12人一人一人が張り切っています。皆さんが期待する方向へ進むかどうかは、主人公である皆さんの関心・監視にかかっています。1年間、皆さんと議会をつなぐ「議会だより」の作成を目指します。ご意見お寄せ下さい。

(T・S)

◆ 12月定例会の日程 ◆

- 11日 水 12月定例会・本会議
- 18日 水 12月定例会・本会議

- 会議開催時間は午前9時、会場は役場本庁3階です。
- 本会議はどなたでも傍聴することができます。
- 日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局(☎56-2229)までお問い合わせください。



私たち第1常任委員会が編集を担当します

編集委員

(第1常任委員会)

- 委員長 鈴木多津枝
- 副委員長 太田 侑孝
- 委員 小藪侃一郎
- “ “ “ 森 照信
- “ “ “ 山本 信之
- “ “ “ 藪田 靖邦